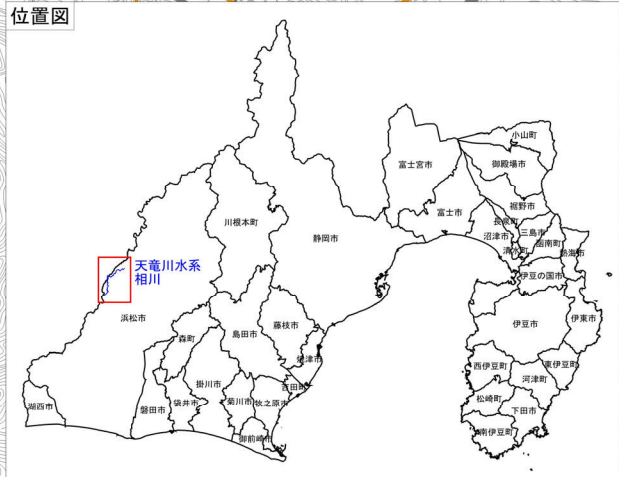
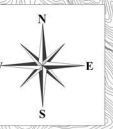


# 天竜川水系相川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

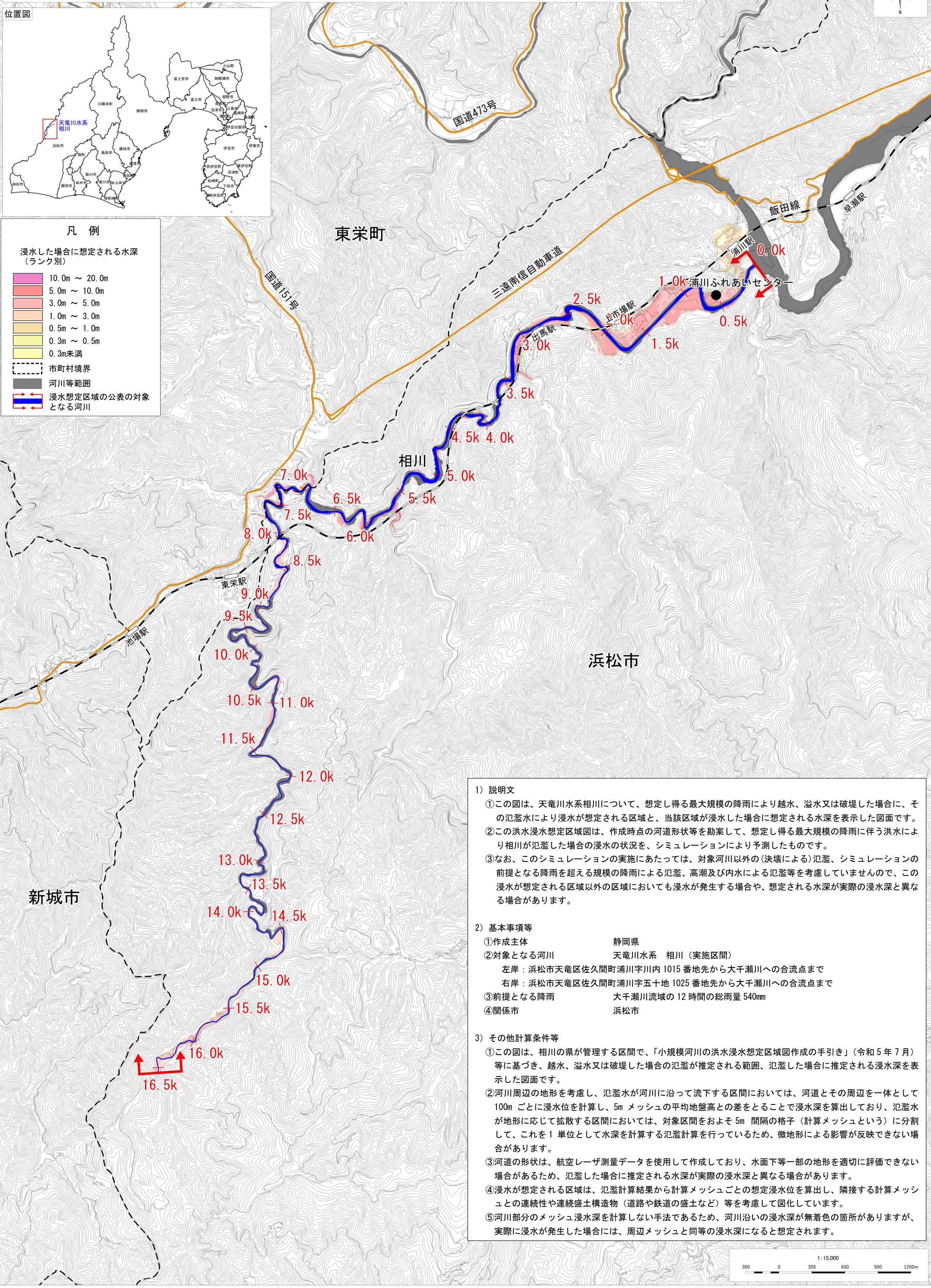


**凡例**

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

10.0m ~ 20.0m
5.0m ~ 10.0m
3.0m ~ 5.0m
1.0m ~ 3.0m
0.5m ~ 1.0m
0.3m ~ 0.5m
0.3m未満

--- 市町村境界  
 河川等範囲  
 浸水想定区域の公表の対象となる河川



1) 説明文

①この図は、天竜川水系相川について、想定し得る最大規模の降雨により越水、溢水又は破堤した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

②この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により相川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2) 基本事項等

①作成主体	静岡県
②対象となる河川	天竜川水系 相川 (実施区間)
	左岸：浜松市天竜区佐久間町浦川字川内 1015 番地先から大千瀬川への合流点まで
	右岸：浜松市天竜区佐久間町浦川字五十地 1025 番地先から大千瀬川への合流点まで
③前提となる降雨	大千瀬川流域の 12 時間の総雨量 540mm
④関係市	浜松市

3) その他計算条件等

①この図は、相川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」(令和 5 年 7 月)等に基づき、越水、溢水又は破堤した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

②河川周辺の地形を考慮し、氾濫水が河川に沿って流下する区間においては、河道とその周辺を一体として 100m ごとに浸水位を計算し、5m メッシュの平均地盤高との差をとることで浸水深を算出しており、氾濫水が地形に応じて拡散する区間においては、対象区間をおよそ 5m 間隔の格子 (計算メッシュという) に分割して、これを 1 単位として水深を計算する氾濫計算を行っているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

③河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

④浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物 (道路や鉄道の盛土など) 等を考慮して図化しています。

⑤河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、実際に浸水が発生した場合には、周辺メッシュと同等の浸水深になると想定されます。

